

(背景)
人口減少・超高齢社会の到来をふまえ、今後草津市が滋賀県湖南地域において中核的役割を発揮するに足る都市規模を目指すにあたり、民間活力を活用したまちづくりを進めるための取組を行う必要がある。

- i：都市機能増進施設の充実**
令和7年度の区域区分一斉随時見直しと、これに併せた高容積化を含む用途地域の見直し
⇒①市街化調整区域の市街化編入（住居系用途）
⇒②都市計画マスタープランに位置付けられている“高度利用区域”における用途地域の検討
⇒③都市機能増進施設の立地誘導を見据えた用途地域の検討
- ii：職住近接を活かしたまちづくり**
市街化調整区域における地区計画制度の拡充
⇒④産業振興拠点形成型の条件の検討
⇒⑤（仮称）既存集落型の検討（新設）

